

社会資本総合整備計画															事後評価書			
計画の名称	琵琶湖流域における河川環境の保全・再生対策の推進（重点）																	
計画の期間	令和02年度～令和06年度（5年間）														重点配分対象の該当		○	
交付対象	滋賀県																	
計画の目標	琵琶湖総合保全整備計画 第2期 および琵琶湖保全再生施策に関する計画に基づき、水質保全および自然環境保全対策を実施することにより、琵琶湖流域の生態系の保全・再生を目指す。 湖底の底泥浚渫や覆土等の底質改善対策および植生浄化や内湖拡幅等の流入河川対策による水質保全対策により、琵琶湖への流入負荷を削減する。																	
全体事業費（百万円）	合計（A＋B＋C＋D）		696	A	696	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A＋B＋C＋D）			0	%		

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R2当初		R6末
1	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - N（北湖）	200 μg/L	μg/L	200 μg/L
2	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - N（南湖）	240 μg/L	μg/L	240 μg/L
3	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - P（北湖）	7 μg/L	μg/L	7 μg/L
4	琵琶湖の水質について、水質保全対策を実施することにより、全窒素、全リンについて、水質目標値まで改善する。			
	琵琶湖の水質 T - P（南湖）	15 μg/L	μg/L	15 μg/L
5	湖底の底泥浚渫や覆土等の底質改善対策および植生浄化や内湖拡幅等の流入河川対策による水質保全対策により、全窒素、全リンについて琵琶湖への流入負荷量を5年間で850g/日、350g/日削減する。			
	琵琶湖への流入負荷削減量 T - N	0g/日	460g/日	850g/日
6	湖底の底泥浚渫や覆土等の底質改善対策および植生浄化や内湖拡幅等の流入河川対策による水質保全対策により、全窒素、全リンについて琵琶湖への流入負荷量を5年間で850g/日、350g/日削減する。			
	琵琶湖への流入負荷削減量 T - P	0g/日	200g/日	350g/日

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
都市水環境整備事業	A14-001	都市水	一般	滋賀県	直接	滋賀県	-	-	統合河川環境整備事業	赤野井湾他1河川 河川浄化 、覆土工	守山市						586		-
											小計						586		
その他総合的な治水 事業	A08-002	総合治水	一般	滋賀県	直接	滋賀県	環境	-	東近江・湖東・湖北・湖 西圏域総合流域防災事業	西の湖 河川浄化	近江八幡市						110		-
											小計						110		
											合計						696		

事後評価	
事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
滋賀県公共事業評価監視委員会にて実施	令和7年1月20日
	公表の方法
	ホームページ
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	赤野井湾および木浜内湖の植生浄化による流入河川事業や、浚渫工や植生工等の底質改善事業の進捗に伴い、底泥からの窒素やリンの溶出を抑制することによる水質浄化効果が発現していることを確認した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
琵琶湖や内湖を含む河川の環境保全対策については、目標に達していない南湖のリンに関して、引き続き底質改善対策および流入河川対策の推進に取り組む。	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
1	水質改善 T-N(北湖)		
	最 終 目標値	200 μg/L	
	最 終 実績値	170 μg/L	
2	水質改善 T-N(南湖)		
	最 終 目標値	240 μg/L	
	最 終 実績値	240 μg/L	
3	水質改善 T-P(北湖)		
	最 終 目標値	7 μg/L	
	最 終 実績値	7 μg/L	
4	水質改善 T-P(南湖)		
	最 終 目標値	15 μg/L	大雨等の影響により観測値が高くなった可能性がある
	最 終 実績値	18 μg/L	
5	流入負荷削減量 T-N		
	最 終 目標値	850g/日	
	最 終 実績値	1395g/日	

目標値の達成状況			
番号	指標（略称）		
	目標値 / 実績値		目標値と実績値に差が出た要因
6	流入負荷削減量 T-P		
	最 終 目標値	350g/日	
	最 終 実績値	354g/日	